

小林 一茶(こばやし いっさ)

資 料

短冊『欠椀も 同じ流や 立田川 一茶』

作 者

1763(宝暦13). 5. 5-1828(文政10). 11. 19

信濃(長野県)上水内郡信濃村生まれ。

江戸に奉公に出て、葛飾派の二六庵竹阿に俳諧を学ぶ。その後、四国や九州等を俳諧の修行のため行脚する。晩年は故郷に戻り俗語や方言まじりの生活に根ざす句を詠む。

参考文献

『一茶全集(全10)』(信濃教育会／編 信濃毎日新聞社
1976-1980. 1 [県立 918. 5/21/1-9])

『小林一茶』(矢代静一／著 河出書房新社 1991. 6
[県立 913. 6Z/403(20333399)])

『小林一茶』(矢羽勝幸／著 勉誠出版(日本の作家100
人) 2004. 10
[県立 911. 35NN/175(21759907)])

